

題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
<b>あさのかい</b> ～文字や数字に親しもう～	小	<b>あさのかい</b> 4年 （国語・算数）	谷川 淳
<p>＜ねらい＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カードを使ったいろいろなやりとり（指示を聞いて選ぶ、貼る位置を数字を言って知らせる等）をする。</li> <li>いろいろなひらがなを読む。（ひとまとまりや一文字、活字や書いた字）</li> <li>カードを数える。</li> </ul>			
学習内容（抜粋）	学習活動（抜粋）	指導上の留意点・準備物	
<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ</li> <li>出席調べ</li> <li>時間割</li> <li>献立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当番の児童が台詞カードの文字を読む。</li> <li>友達の名前カードを読む。</li> <li>順に数字カードを貼る。</li> <li>① 時間割名を聞いてそのカードを持っている児童が貼りに行く。</li> <li>② 「〇時間目のカード」と言う指示を聞いて、そのカードを持っている児童が貼りに行く。</li> <li>教師が持っているカードを見て何時間目か数字を言って答える。</li> <li>友達が書いた文字を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台詞カード</li> <li>時間があれば一文字ずつ提示する。</li> <li>選抜</li> <li>児童の机上に時間割カードを配る。</li> <li>献立用ホワイトボード</li> </ul>	
<p>＜内容（工夫点など）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カードのやりとりのバリエーションについて書籍（感覚と運動の高次化理論）を参考にした。</li> </ul> <p>＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カードを使うと形で覚えて読んでいるように誤解される児童が多い中で、読めているか確認しながら進めることができた。</li> <li>友達が書いた文字を読むことは書く児童にとっても丁寧に書くことのモチベーションにつながった。</li> <li>毎日のあさのかいの中で文字や数に関する活動に取り組むことで、少しずつ児童の主に読む力をつけることができた。</li> </ul>			